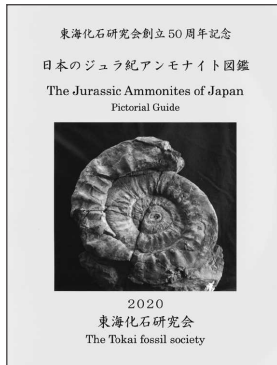


◆本の紹介◆

東海化石研究会創立50周年記念  
「日本のジュラ紀アンモナイト図鑑」  
The Jurassic Ammonites of Japan Pictorial Guide  
編・著者：蜂矢喜一郎  
2020年12月4日発行、A4版 218頁。  
頒布価格 4,500円、東海化石研究会。



本図鑑は東海化石研究会の創立50周年事業の一環として出版されたもので、日本のジュラ紀アンモナイトに関する総括的で詳細なデータ集である。東海化石研究会の会長を務める編・著者の蜂矢喜一郎氏が、同会のメンバーなどと共に長年にわたって採集してきた標本を、多くの関係者の協力を得て、編・著者との関係の深い佐藤 正氏（筑波大学名誉教授）の研究を中心にまとめたものとなっている。

その内容は、日本の代表的なジュラ紀アンモナイトの産地・地層名・時代・種名がリストとしてまとめられ、それらの産地が年代別に前期・中期・後期に分けられて日本地図の中に示されている。そして、科などを分類するにあたっての形質の特徴も書かれている。さらに、分類に使われる形態の各部の名称と用語が、わかりやすいスケッチと共に示されており、素人にとってありがたい。

この図鑑のメインとなる各アンモナイトの写真は、きれいにホワイトニングして撮影されたもので、本全体の8割以上を占めており圧巻である。それらは地層ごとにまとめられており、種名、産地、形態の記載、その出典が記されている。

序文に「本書は一般研究者のみならず、専門の研究者を目指す人、あるいはアマチュアの方々に日本のジュラ紀アンモナイトの研究の現状とその標本群のすばらしさを知っていただくためにまとめたものである」と述べられているように、誰でもが目を見張る図鑑であり、手に取ってご覧になることをお勧めする。

以下に目次を示しておく。

1. はじめに
2. 2004年以降の日本のジュラ紀アンモナイトの発見と研究に関するエピソード
3. 日本のジュラ紀アンモナイトの研究史
4. 日本のジュラ紀アンモナイトの概要  
ジュラ紀から白亜紀前部にかけての産地
5. 日本の代表的なジュラ紀アンモナイトの産地リストと産出アンモナイト
6. 日本の代表的なジュラ紀アンモナイトの産地
7. アンモナイト各部の名称と形態用語
8. 日本のジュラ紀アンモナイトの分類と各科の特徴
9. 日本のジュラ紀アンモナイト図説（チトニアンを含む）
  - (1) 四国、九州外帯のアンモナイト
  - (2) 豊浦層群
  - (3) 樋口層群
  - (4) 来馬層群
  - (5) 九頭竜層群貝皿層
  - (6) 手取層群長野層
  - (7) 手取層群上半原層
  - (8) 手取層群御手洗層
  - (9) 手取層群有峰層
  - (10) 手取層群桐谷層
  - (11) 今浦層群
  - (12) 相馬中村層群
  - (13) 志津川層群
  - (14) 志津川地域の橋浦層群荒砥層
  - (15) 橋浦地域の橋浦層群長尾層
  - (16) 橋浦層群大和田層
  - (17) 網木坂層
  - (18) 鹿折層群
  - (19) 牡鹿層群
  - (20) 内帯の付加体由来とみられるジュラ紀アンモナイト
10. 日本列島の地質構造とジュラ紀アンモナイトの産地
11. 各産地間で共通する属
12. 文献
13. 謝辞 協力者
14. あとがき

郵送希望は、送料込み4,900円（頒価4,500円＋郵送料金400円）を下記に郵便振込で送金して下さい。

口座記号・番号 00860-3-68455

加入者名 東海化石研究会

(石田吉明)